

## 目次

## 検討の観点と内容の特色

## ① 教育課程及び学習指導要領への対応

- 01 教育基本法に示された教育の目的と教育の目標
- 01 「特別の教科 道徳」の目標
- 02 教育課程のキーワード

## ② 教科書構成上の配慮と工夫

- 03 構成・配列・分量
- 04 指導上の配慮

## ③ 教育課題への取り組み

- 06 現代的な課題に取り組む5つのユニット
- 07 さまざまな教育課題への取り組み

## ④ 全ての児童が使いやすい教科書への配慮

- 09 表記・表現
- 09 造本・印刷
- 10 人権上の配慮
- 10 特別支援教育・ユニバーサルデザイン

令和6年度用  
「新編 新しい道徳」

# 検討の観点と 内容の特色



## [ 掲載されている観点の例 ]

教育基本法 …………… No.1	問題解決的な学習 …………… No.21	国際理解教育・平和教育 …… No.37
道徳科の目標 …………… No.2～7	役割演技や動作化 …………… No.21	SDGs …………… No.38
個別最適な学び …… No.8、58～60	若手教師の支援 …………… No.22	主権者教育 …………… No.41
協働的な学び …………… No.8～10	ICT端末の活用 …………… No.23	キャリア教育 …………… No.45
令和の日本型学校教育 …… No.8	保幼小連携 …………… No.25	LGBTなど性の多様性 …… No.47
主体的・対話的で深い学び …… No.9	小中連携 …………… No.26	人権教育 …………… No.47
考え、議論する道徳 …… No.10	いじめの防止 …………… No.29	ダイバーシティ …… No.47、56
学校の働き方改革 …………… No.11	生命の尊厳 …………… No.30	ユニバーサルデザイン …… No.58～60
道徳科の評価 …………… No.17	自己肯定感 …………… No.31	特別支援教育 …………… No.58
家庭や地域社会との連携 …… No.20	情報モラル …………… No.32、43	外国人児童への配慮 …… No.60

# ① 教育課程及び学習指導要領への対応

## 教育基本法に示された教育の目的と教育の目標

No.	観点	特色
1	教育基本法第1条の <b>教育の目的</b> 及び同法第2条に掲げる <b>教育の目標</b> を達成できるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法第1条の教育の目的及び、同法第2条各号に掲げられた教育の目標の達成に資するよう、「特別の教科 道徳」の目標及び内容に照らして、教材や資料が適切に選定、配列されている。</li> </ul>

## 「特別の教科 道徳」の目標

No.	観点	特色
2	教育活動全体を通じて行う <b>道徳教育の目標</b> に基づいた、道徳科の授業を行うことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習指導要領第1章総則の第1の2の(2)に示された<b>道徳教育の目標に基づいた道徳科の授業</b>が行えるよう、教材が適切に選定、配列されている。</li> <li>●教材に付随するコラム「<b>つながる・広がる</b>」に他教科等との関連が明示されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「コラム『つながる・広がる』」(1年 p.40「いきものはともだち」[生活] / 5年 p.83「今日からできるエシカル消費」[社会、家庭]、等)</li> </ul> </li> <li>●各学年巻末の「教材一覧表」に他教科等との関連が明示されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「教材一覧表」(各学年巻末)</li> </ul> </li> </ul>
3	<b>道徳的諸価値について理解</b> することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が道徳的価値観を形成する上で必要な、<b>学習指導要領に示されている全ての内容項目</b>を、6学年でもれなく取り扱っている。</li> <li>●教材末の「考えよう」では、道徳的価値に最も迫ることができる<b>中心発問</b>が1つ選ばれ、「◎」を付して掲載されており、道徳的価値について理解することができる。</li> </ul>
4	<b>自己を見つめる</b> ことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教材末の「考えよう」では、<b>自己を見つめる発問</b>が「○」を付して掲載されており、自分との関わりで考えを深め、自己を見つめることができる。</li> <li>●各学年巻頭の「<b>どんな学びをするのかな?</b>」では、教材で学んだことを基に、自己を見つめる際の考え方が例示されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>どんな学びをするのかな?</b>」(各学年 p.6~7)</li> </ul> </li> <li>●心に残った教材や、これからの生活に生かしたいことを書くことができる「<b>学習の記録</b>」が各学年巻末に設けられており、児童が自らを振り返って成長を実感できるように構成されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>学習の記録</b>」(各学年巻末)</li> </ul> </li> </ul>
5	<b>物事を多面的・多角的に考える</b> ことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年巻末の「<b>考えるためのツール</b>」には、自分の考えを可視化するためのツールが例示されており、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気づくことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>考えるためのツール</b>」(各学年巻末)</li> </ul> </li> <li>●各学年巻頭(1年を除く)の「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」は、児童がミニ教材を使って実際に対話しながら、多様な感じ方や考え方に気づくための学び方を身につけることができるように構成されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」(2~6年 p.8)</li> </ul> </li> <li>●教材の読み取りに終始しないよう、<b>登場人物の心の中を説明する文言を削減するなど、教材文が学習効果を高められるように検討</b>されており、児童が多様な感じ方や考え方に会うことができる。</li> </ul>
6	<b>自己の生き方についての考えを深める</b> ことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中・高学年では、教材末の「考えよう」に、子どものキャラクターによる<b>学習への投げかけ</b>が掲載されており、児童の問題意識を喚起し、自己の生き方についての考えを深めることができる。</li> <li>●各学年巻頭の「<b>どんな学びをするのかな?</b>」では、学んだことをこれからの生活や学習に広げていくことが示唆されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>どんな学びをするのかな?</b>」(各学年 p.6~7)</li> </ul> </li> <li>●教材末に、道徳科の授業で考えたことと他教科等や日常生活とのつながりを示唆する「<b>つながる・広がる</b>」が設けられている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>教材末の『つながる・広がる』</b>」(3年 p.32 / 4年 p.27、等)</li> </ul> </li> </ul>

7	<b>道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる</b> ことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>道徳的判断力</b>を育てることを意図した教材や、<b>道徳的心情</b>を育てることを意図した教材、<b>道徳の実践意欲と態度</b>を育てることを意図した教材が、バランスよく適切に選定、配置されている。</li> <li>●心に残った教材や、これからの生活に生かしたいことを書くことができる「<b>学習の記録</b>」が各学年巻末に設けられており、長期的な展望を持って児童の道徳性を養うことができるように構成されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>学習の記録</b>」(各学年巻末)</li> </ul> </li> <li>●各教材の「<b>デジタルノート</b>」や巻末の「<b>学習の記録</b>」の<b>二次元コードからダウンロードできるワークシート</b>を活用し、児童が自分の成長を確認できるように工夫されている。</li> </ul>
---	--	--

## 教育課程のキーワード

No.	観点	特色
8	<b>個別最適な学びと、協働的な学びの実現</b> を目指す、 <b>令和の日本型学校教育</b> の構築に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童一人一人の特性に応じて教材の読解を支援し、個別最適な学びを実現できるよう、全教材に付いた二次元コードから、<b>朗読音声</b>や<b>スライドショー(紙芝居)</b>を視聴することができる(1年入門期は除く)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>朗読音声</b>」「<b>スライドショー(紙芝居)</b>」(教材冒頭の二次元コード)</li> </ul> </li> <li>●各学年巻頭(1年を除く)の「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」には、対話的に学ぶ際に活用できる文言例が掲載されており、児童がミニ教材を使って実際に対話しながら、協働的な学び方を身につけることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」(2~6年 p.8)</li> </ul> </li> </ul>
9	<b>主体的・対話的で深い学びの実現</b> に向けた授業改善に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中・高学年では、教材末の「考えよう」に、児童の問題意識を喚起し、主体的な学びにいざなう、<b>学習への投げかけ</b>が掲載されている。</li> <li>●各学年巻頭の「<b>どんな学びをするのかな?</b>」では、対話的な学びを実現するための学び方が例示されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>どんな学びをするのかな?</b>」(各学年 p.6~7)</li> </ul> </li> <li>●全ての学年に、<b>問題解決的な学習</b>と、道徳的行為に関する<b>体験的な学習</b>を取り入れた教材が掲載されており、指導方法の工夫に寄与できるように配慮されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>問題を見つけて考えよう(問題解決的な学習)</b>」(3年 p.52、等)</li> <li>▶「<b>演じて考えよう(役割演技)</b>」(1年 p.64 / 2年 p.94、等)</li> <li>▶「<b>やってみて考えよう(動作化)</b>」(1年 p.108 / 2年 p.33)</li> </ul> </li> </ul>
10	<b>考え、議論する道徳</b> を実現することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が先入観を持たずに自己と向き合い、考え、議論することができるよう、<b>教材の冒頭は情報量を抑え、シンプルに構成</b>されている。</li> <li>●各学年巻頭(1年を除く)の「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」には、対話の中で活用できる文言例が掲載されており、児童がミニ教材を使って実際に議論しながら、考え、議論する道徳を実現することができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」(2~6年 p.8)</li> </ul> </li> <li>●各学年巻末の「<b>考えるためのツール</b>」には、自分の考えを可視化するためのツールが例示されており、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気づくことができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>考えるためのツール</b>」(各学年巻末)</li> </ul> </li> <li>●教材の読み取りに終始しないよう、<b>登場人物の心の中を説明する文言を削減</b>するなど、<b>教材文が学習効果を高められるように検討</b>されており、児童が多様な感じ方や考え方に会うことができる。</li> </ul>
11	<b>学校の働き方改革</b> に寄与できるよう、配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師が児童と向き合う時間を増やせるよう、詳細な発問例や板書例など、<b>内容の充実した教師用指導書</b>の発行が予定されている。</li> <li>●<b>同じ学校内なら台数の制限なく利用</b>できる、学校ライセンスの朱書編デジタル版の同梱が予定されている。</li> <li>●人物教材を中心に、<b>教材の理解を支援する動画</b>が二次元コードから視聴でき、事前準備の軽減に寄与できるように配慮されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「<b>教材の理解を支援する動画</b>」(3年 p.34: リンカーン / 5年 p.112: ベートーベン / 6年 p.162: 中村哲、等)</li> </ul> </li> </ul>



## ② 教科書構成上の配慮と工夫

### 構成・配列・分量

No.	観点	特色
12	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養えるよう、 <b>教科書の構成</b> は十分に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年の教科書は、「<b>道徳の学習を始めよう</b>」、「<b>本編教材</b>」、「<b>つながる・広がる</b>」、「<b>巻末付録</b>」の4つから構成されている。「道徳の学習を始めよう」を活用して道徳科の学び方を学び、「つながる・広がる」では本編教材で考えたことを他教科等や日常生活に広げる。「巻末付録」では思考ツールなど、学びに役立つ資料が掲載されている。</li> </ul>
13	児童や学校の状況に照らして、 <b>内容の選択</b> や <b>程度</b> 、 <b>分量</b> は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳科の授業の量的な担保ができるよう、<b>各学年の標準授業時数に合わせた数の教材</b>（1年34教材、2～6年35教材）が掲載されている。</li> <li>●学習指導要領第1章総則の第6の2に示された道徳教育の各学年段階の留意事項を踏まえ、<b>全学年の「重点指導内容項目」と、各学年段階の「重点指導内容項目」</b>が設定されており、複数の教材が掲載されている。特に重点が置かれている「<b>生命の尊さ</b>」は、<b>各学年で3教材</b>ずつ掲載されている。 「全学年での重点指導内容項目」▶<b>節度、節制／親切、思いやり／規則の尊重／生命の尊さ／自然愛護</b> 「低学年の重点指導内容項目」▶<b>善悪の判断、自律、自由と責任／礼儀</b> 「中学年の重点指導内容項目」▶<b>善悪の判断、自律、自由と責任／希望と勇氣、努力と強い意志／友情、信頼／勤労、公共の精神</b> 「高学年の重点指導内容項目」▶<b>希望と勇氣、努力と強い意志／友情、信頼／勤労、公共の精神／よりよい学校生活、集団生活の充実／伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度／国際理解、国際親善</b></li> <li>●絵や写真を使い<b>道徳科の授業を楽しむ低学年</b>、身近な教材文で<b>価値の理解を深める中学年</b>、多様な資料から<b>自分の生き方について考える高学年</b>と、6年間を通して道徳性を養うことができるよう、教材の内容や形式が選択されている。</li> <li>●児童が考え、議論する時間を十分に確保できるよう、<b>各教材は学年段階に応じた文字数</b>で構成されている。</li> </ul>
14	<b>他教科等との関連</b> を図り、教育活動全体で行う <b>道徳教育の要となる道徳科</b> を実現することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年に、他教科等における道徳教育を<b>深化、統合することを意識した教材</b>が掲載されている。 ▶「<b>深化、統合を意識</b>」（4年 p.90～93 『ふれあいの森』で）[社会、理科] / 5年 p.24～27 『ヒヤリ・ハット』] [体育]、等)</li> <li>●教材に付随するコラム「<b>つながる・広がる</b>」に他教科等との関連が明示されている。 ▶「<b>コラム『つながる・広がる』</b>」（1年 p.40 「いきものはともだち」[生活] / 5年 p.83 「今日からできるエシカル消費」[社会、家庭]、等)</li> <li>●各学年巻末の「<b>教材一覧表</b>」に他教科等との関連が明示されている。 ▶「<b>教材一覧表</b>」（各学年巻末）</li> </ul>
15	各学校の道徳教育の全体計画に基づき、 <b>道徳科の年間指導計画を効果的に作成</b> できるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童の発達の段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された年間指導計画を作成できるように、各学年巻末に内容項目や主題名、関連するテーマ、他教科等との関連を示した「<b>教材一覧表</b>」が取り上げられている。 ▶「<b>教材一覧表</b>」（各学年巻末）</li> <li>●学校行事や児童の生活実態に合わせ、<b>指導内容と指導時期を考慮して教材が配列</b>されており、各学校の全体計画に基づいた年間指導計画が効果的に作成できる。 ▶「<b>指導内容と指導時期が考慮された教材</b>」（1年 p.31～33 「うかんだ うかんだ」 / 6年 p.90～93 「修学旅行の夜」、等）</li> <li>●2～6年で、現代的な課題に取り組む<b>5つのユニットが同じ時期に配列</b>されており、各学校の全体計画に合わせて配列を組み替えることができる。 ▶「<b>同じ時期に配列された5つのユニット</b>」（2～6年目次参照）</li> </ul>
16	児童が <b>道徳性を養うことの意義</b> を理解し、主体的に学習に取り組むことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳科の授業を通して養われるさまざまな「<b>心のちから</b>」が、各学年の表紙及び巻頭詩ページに掲載されている。道徳科の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組むことができる。 ▶「<b>心のちから持ち</b>」（各学年表紙、巻頭見開き）</li> </ul>

### 指導上の配慮

No.	観点	特色
17	児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握するなど、児童の成長を促す <b>道徳科の評価</b> を行うことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心に残った教材や、これからの生活に生かしたいことを書くことができる「<b>学習の記録</b>」が各学年巻末に設けられており、児童が自らを振り返って成長を実感するとともに、教師の評価にも活用することができる。 ▶「<b>学習の記録</b>」（各学年巻末）</li> <li>●各教材の「<b>デジタルノート</b>」や巻末の「<b>学習の記録</b>」のワークシートをダウンロードすることで、<b>ICT端末を使って道徳科の学びを蓄積</b>し、児童が成長を実感するとともに、教師の評価にも活用することができる。</li> </ul>
18	児童や学級の実態、児童の発達の段階などに応じて、教材の <b>多様な提示方法</b> を工夫することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読み物教材に加え、<b>写真や挿絵などのビジュアルから考える教材</b>や、<b>漫画を活用した教材</b>など、多様な形式の教材が掲載されており、提示方法を工夫して児童の学習意欲を喚起することができる。 ▶「<b>ビジュアル教材</b>」（1年 p.46～49 「あめが あがって……」 / 6年 p.86～89 「ともにくらすわたしたち」、等） ▶「<b>漫画教材</b>」（4年 p.52～55 「いっしょに遊ばない」 / 5年 p.116～119 「遊園地のできごとから」、等）</li> <li>●全教材に付いた二次元コードから、<b>朗読音声</b>や<b>スライドショー（紙芝居）</b>を利用することで、児童や学級の実態に応じて教材の提示方法が選択できる。 ▶「<b>朗読音声</b>」「<b>スライドショー（紙芝居）</b>」（教材冒頭の二次元コード）</li> </ul>
19	児童が自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの <b>言語活動</b> を充実することができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年巻頭（1年を除く）の「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」には、ミニ教材とともに、議論する際の文言例が掲載されている。 ▶「<b>ちょっと話し合ってみよう!</b>」（2～6年 p.8）</li> <li>●各学年巻末の「<b>考えるためのツール</b>」には、自分の考えを可視化し、話し合い活動を促すツールが例示されている。4年以降には、自分の考えを可視化できる付録「<b>心情円</b>」が用意されている。 ▶「<b>考えるためのツール</b>」（各学年巻末） ▶「<b>心情円</b>」（4～6年巻末）</li> <li>●パズル、学校新聞、絵手紙などさまざまな素材や活動の中で<b>議論を促し、多様な考えを引き出す教材</b>が掲載されている。 ▶「<b>議論を促し、多様な考えを引き出す教材</b>」（1年 p.82～85 「みつめて みよう」 / 4年 p.69～71 「日ごろの気持ちをつたえよう」、等）</li> <li>●道徳科の授業を通じて考えたことを、ICT端末を活用して記入する「<b>デジタルノート</b>」が、教材冒頭の二次元コードから利用できる。 ▶「<b>デジタルノート</b>」（教材冒頭の二次元コード）</li> </ul>
20	<b>家庭や地域社会との連携</b> を図ることができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校と家庭がイメージを共有できるよう、道徳教育が目指す姿を描いた「<b>心のちから持ち</b>」が、各学年の表紙及び巻頭詩ページに掲載され、裏表紙に<b>保護者に向けたメッセージ</b>も掲載されている。 ▶「<b>心のちから持ち</b>」（各学年表紙、巻頭見開き、裏表紙）</li> <li>●2～6年の情報モラルユニットは<b>夏休み直前に配置</b>され、夏休み中の家庭や地域でのICT端末の活用に役立つように配慮されている。</li> <li>●各学年の情報モラルコラム「<b>つながる・広がる</b>」には、<b>保護者に向けたメッセージ</b>が掲載されており、家庭や地域社会と連携しながら、情報活用能力を身につけられるように構成されている。 ▶「<b>情報モラルコラム</b>」（2年 p.56～57 「つかいすぎ? だいじょうぶ?」 / 3年 p.62～63 「ちょさくけんクイズ」、等）</li> <li>●各学年の情報モラルコラム「<b>つながる・広がる</b>」の二次元コードから、<b>情報モラルについて家庭で学べる動画</b>を視聴することができる。 ▶「<b>情報モラルについて家庭で学べる動画</b>」（2年 p.57 「どうがを ずっと 見て しまう」 / 6年 p.61 「フェイクニュース」、等）</li> </ul>
21	指導のねらいに即して、 <b>問題解決的な学習</b> 、 <b>役割演技</b> や <b>動作化</b> など道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れることができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての学年に、<b>問題解決的な学習</b>と、<b>役割演技</b>や<b>動作化</b>など道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた教材が掲載されており、多様な指導方法を取り入れることができる。 ▶「<b>問題を見つけて考えよう（問題解決的な学習）</b>」（3年 p.52、等） ▶「<b>演じて考えよう（役割演技）</b>」（1年 p.64 / 2年 p.94、等） ▶「<b>やってみて考えよう（動作化）</b>」（1年 p.108 / 2年 p.33）</li> </ul>

22	若手教師の支援に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教材の発問が、「中心発問」と「自己を見つめる発問」の2つに絞られており、ひと目で授業のポイントが分かるとともに、<b>学級や学校の実態に応じて自由に発問を付け足し、柔軟に活用</b>することができる。</li> <li>●冒頭や末尾の二次元コードから<b>導入や終末など授業の中で柔軟に活用できる動画</b>を視聴できる教材が、随所に掲載されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「導入や終末で活用できる動画」(1年 p.49: にじが でた / 4年 p.12: 目のふじゆうな人とかかわり / 6年 p.74: タマゾン川、等)</li> </ul> </li> <li>●<b>同じ学校内なら台数の制限なく利用できる</b>、学校ライセンスの教師用指導書、朱書編デジタル版の同梱が予定されており、全ての教師が朱書編デジタル版を参考にしながら、授業計画を立てられるように配慮されている。</li> </ul>
23	GIGAスクール構想で配備されたICT端末の活用に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>全ての教材で、冒頭の二次元コード</b>からICT端末を活用して、朗読音声、スライドショー(紙芝居)、デジタルノートにアクセスすることができる(1年入門期は除く)。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「教材冒頭の二次元コード」</li> </ul> </li> <li>●冒頭や末尾の二次元コードから、授業前や授業の中で<b>柔軟に活用できる動画</b>を視聴できる教材が、随所に掲載されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「柔軟に活用できる動画」(1年 p.49: にじが でた / 4年 p.12: 目のふじゆうな人とかかわり / 6年 p.74: タマゾン川、等)</li> </ul> </li> <li>●各学年に、<b>本編教材と同じ内容の動画</b>が視聴できる教材が掲載されている。<b>動画教材</b>として、教科書の教材文と同様に活用することができる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「動画教材」(2年 p.52～55「あさも ひるも よるも あそびたい」 / 3年 p.58～61「作ひんのかち」 / 6年 p.47～50「ある犬のおはなし」、等)</li> </ul> </li> <li>●人物教材を中心に、<b>教材の理解を支援する動画</b>が二次元コードから視聴できる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「教材の理解を支援する動画」(3年 p.34: リンカーン / 5年 p.112: ベートーベン / 6年 p.162: 中村哲、等)</li> </ul> </li> <li>●各学年の「<b>コンピュータを学びに生かそう</b>」の二次元コードから、コンピュータの使い方や注意点をまとめたウェブサイトが利用できる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「コンピュータを学びに生かそう」(各学年 p.7)</li> </ul> </li> </ul>
24	特別活動等における多様な <b>実践活動</b> や <b>体験活動</b> を道徳科の授業に生かすことができるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年に<b>実践活動や体験活動との関連を図った教材</b>が配置されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「実践活動や体験活動との関連を図った教材」(2年 p.106～108「三くみ 大すき」 / 4年 p.102～105「秋空にひびくファンファーレ」 / 6年 p.90～93「修学旅行の夜」、等)</li> </ul> </li> </ul>
25	幼稚園、保育所、認定こども園など、 <b>幼児期の教育</b> との接続( <b>保幼小連携</b> )に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年生では、「スタートカリキュラム」にあたる第1～6教材が、入門期「<b>どうとくスタート</b>」に位置付けられ、初めての道徳科の授業を楽しめるよう、絵や写真を中心とした教材で構成されている。</li> <li>●「どうとくスタート」では、自分のことを話す学習から始まり、友達といっしょに遊ぶ学習、なかよくなった友達と挨拶する学習へと、<b>児童の意識の流れに沿って教材が配列</b>されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「どうとくスタート」(1年 p.9～23)</li> </ul> </li> <li>●<b>教材で扱う内容項目に関する絵本</b>が紹介されており、読み聞かせを取り入れることで、1年生が意欲的に授業に取り組めるように配慮されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「関連する絵本の紹介」(1年 p.10～11「わたしの すきな こと」、p.12～13「みんな いっしょ」、p.18～19「がっこうにはね……」)</li> </ul> </li> <li>●1年生の最初の授業は、幼児期の育ちをのびのびと発揮できるよう、<b>自分のことを友達に話し、認め合う学習</b>から始まっている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「互いに認め合う学習」(1年 p.10～11「わたしの すきな こと」)</li> </ul> </li> </ul>
26	<b>中等教育</b> への円滑な接続( <b>小中連携</b> )に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6年生の後半では、中学生になるにあたって<b>自己の生き方について考えることに直接つながる教材</b>が配置されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「自己の生き方について考える教材」(6年 p.162～166「さばくを緑の農地に — 中村哲医師」、p.182～185「夢」、等)</li> </ul> </li> <li>●6年生の巻末に、各学年の「心のちから」を振り返り、自分の成長を見つめる特設ページ「<b>夢をつかむ、ちから。</b>」が設けられている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「夢をつかむ、ちから。」(6年 p.186～187)</li> </ul> </li> </ul>
27	<b>複式学級</b> における <b>学習指導</b> に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2～6年では、<b>5つのユニットが同じ時期に配列</b>されており、異学年同内容での複式指導に配慮されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「同じ時期に配列された5つのユニット」(2～6年目次参照)</li> </ul> </li> </ul>

### ③ 教育課題への取り組み

#### 現代的な課題に取り組む5つのユニット

No.	観点	特色
28	<b>現代的な課題</b> について適切に扱えるように構成されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳科の学習で扱う「教材」を要として、他教科等の学習活動や家庭での活動を示唆するコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、現代的な課題に取り組む<b>5つのユニット</b>が、全ての学年に設定されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「5つのユニット」:〈いじめ(人間関係)〉、〈いのち(生命の尊厳)〉、〈じぶん(自己肯定感)〉、〈情報モラル〉、〈安心・安全(防災・安全)〉</li> </ul> </li> </ul>
29	児童が <b>いじめの防止</b> について考え、対応した指導ができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年にいじめの防止に直接関わる「<b>いじめ(人間関係)</b>」、「<b>いのち(生命の尊厳)</b>」、「<b>じぶん(自己肯定感)</b>」の3つのユニットが設置され、繰り返しいじめの防止について考えることができる。</li> <li>●「<b>いじめ</b>」ユニットでは、いじめの場面を<b>直接的に扱う教材</b>と、関係する価値から<b>間接的に考える教材</b>、コラム「つながる・広がる」を組み合わせ、多面的・多角的にいじめの防止について考えられるように工夫されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「『いじめ』ユニット」(4年 p.38～41「いっしょになって、わらっちゃだめだ(直接的教材)」、p.42～43「いじめに『NO』の空気をつくる(つながる・広がる)」、p.44～47「となりのせき(間接的教材)」、等)</li> </ul> </li> <li>●「いじめ」ユニットのコラム「つながる・広がる」では、<b>いじめの当事者・関係者に向けた情報</b>が掲載されており、全ての児童がいじめの防止のためにできることを考えられるように配慮されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「いじめの当事者・関係者に向けた情報」(3年 p.47「『いやだな。』と思ったら」 / 4年 p.42～43「いじめに『NO』の空気をつくる」 / 5年 p.42～43「子どもの権利条約」 / 6年 p.40～41「いじめを法律でどう防ぐ?」)</li> </ul> </li> </ul>
30	児童が <b>生命の尊厳</b> について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年に「<b>生命の尊さ</b>」を扱った<b>教材が3教材ずつ</b>掲載されている。</li> <li>●児童の自殺件数が増える夏休み明けの9月に、教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、生命の尊厳について考える「<b>いのち</b>」ユニットが設置されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「『いのち』ユニット」(1年 p.42～44「どきどき どっきんぐ」、p.44～45「ぼくらは みんな 生きて いる」、等)</li> </ul> </li> </ul>
31	児童が <b>自己肯定感</b> を育むことができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬休み明けの1月に、教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、自己肯定感を育む「<b>じぶん</b>」ユニットが設置されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「『じぶん』ユニット」(4年 p.126～129「うめのき村の四人兄弟」、p.130～131「みんな持っているパワー みんなちがうよいところ」、等)</li> </ul> </li> <li>●個人の価値を尊重したり個人のよさを伸ばしたりして、<b>自己肯定感を育むエンカウンター</b>が、各学年に2箇所ずつ掲載されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「エンカウンター」(2年 p.120～121「じぶんへの しょうじょう」、等)</li> </ul> </li> </ul>
32	児童が <b>情報モラル</b> を育むことができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT端末に触れる機会の増える夏休み直前に、教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ「<b>情報モラル</b>」ユニットが設置されている(1年は除く)。</li> <li>●各学年の情報モラルユニットには<b>情報モラルテーマ</b>が設定されており、系統的に情報活用能力を身につけられるように構成されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「情報モラルテーマ」(1年: ICT端末の扱い方 / 2年: 依存症 / 3年: 著作権 / 4年: オンラインゲーム / 5年: 情報発信 / 6年: 情報リテラシー)</li> </ul> </li> </ul>
33	児童が <b>防災や安全</b> について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年に、教材とコラム「つながる・広がる」を組み合わせ、自然災害、人的災害、交通災害などの災害に対し、安全に生活する態度を養う「<b>安心・安全</b>」ユニットが設置されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「『安心・安全』ユニット」(1年 p.20～21「きを つけて」、p.22～23「そとでの やくそく『いかのおすし』」、等)</li> </ul> </li> <li>●自然災害における相手を思いやる気持ちや、生命のつながりなど、多様な道徳的価値が表れる<b>防災教材</b>が掲載されており、児童が震災などの自然災害について考えを深められるように配慮されている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「防災教材」(3年 p.158～161「おじいちゃん、おばあちゃん、見ていてね」 / 4年 p.162～166「ポロといっしょ」、等)</li> </ul> </li> </ul>



さまざまな教育課題への取り組み

No.	観点	特色
34	伝統や文化を適切に扱い、児童が地域社会や郷土について深く考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご当地キャラクターやふるしきなど児童にとって身近な題材を扱う教材と、歴史的な事象や日本の世界遺産など他教科等の学びを深化、統合する教材がバランスよく掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「身近な題材」(3年 p.20～23「ふっかちゃん町のじまん」/4年 p.58～61「ふるしき」/5年 p.134～136「正月料理」、等)</li> <li>▶「他教科等の学びを深化、統合」(3年 p.152～155「そびえ立つ、伊予松山城」/6年 p.25～29「世界遺産 白神山地」、等)</li> </ul> </li> </ul>
35	先人の伝記を基にした教材を掲載し、児童が自分の生き方について深く考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●藤子・F・不二雄や中村哲など、児童の発達段階に応じて、生き方を考える手がかりとなる人物の教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「生き方を考える手がかりとなる人物」(2年 p.134～137「ぼくは『のび太』でしたー藤子・F・不二雄」/6年 p.162～166「さばくを緑の農地にー中村哲医師」、等)</li> </ul> </li> </ul>
36	スポーツを題材とした教材を掲載し、児童が興味・関心を持って自分の生き方について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●池江璃花子などのスポーツ選手を扱った教材や、義肢装具士の白井二美男などスポーツを支える人を扱った教材など、さまざまな角度からスポーツを題材とした教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「スポーツを題材」(4年 p.167～171「花丸手帳とともにー池江璃花子選手のちようせん」/6年 p.168～171「『あきらめない』を手助けしたいー義肢装具士 白井二美男」、等)</li> </ul> </li> </ul>
37	児童が国際理解教育・平和教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な食べ物や遊びなどを通して他国の文化に親しむ低学年から、他国の文化を尊重し日本人としての自覚を育む高学年まで、系統的に「国際理解、国際親善」を扱う教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「国際理解、国際親善」(1年 p.76～77「ほかのくからきたたべもの」/6年 p.30～34「エンザロ村のかまど」、等)</li> </ul> </li> <li>●写真を活用し、世界の諸情勢に目を向けつつ日本人としてできることを考える教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「世界の諸情勢に目を向けつつ日本人としてできること」(6年 p.86～89「ともにくらすわたしたち」)</li> </ul> </li> </ul>
38	SDGsについて適切に扱い、児童が持続可能な発展について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGsの考え方について簡単な言葉で解説するSDGsコラム「つながる・広がる」が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「SDGsコラム」(3年 p.84～85「『サステナブル』ってなんだろう?」)</li> </ul> </li> <li>●SDGsに関わるページに、SDGsについて児童が主体的に学習できるウェブサイト「SDGs わたしたちがつくる みらい」へ遷移する二次元コードが掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「『SDGs わたしたちがつくる みらい』へ遷移する二次元コード」(3年 p.85/5年 p.68/6年 p.109、等)</li> </ul> </li> <li>●道徳科の授業で考えたことを基に自分ができることを考えるコラム「つながる・広がる」に、関連するSDGsのアイコンが掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「関連するSDGsのアイコン」(5年 p.68「海洋プラスチックごみをへらすために」/6年 p.167「世界で活やくする日本の人たち」、等)</li> </ul> </li> </ul>
39	自然や環境問題について、児童が問題意識を持って考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近なものを大切にすることを扱った教材や、海洋プラスチックごみに関するコラム「つながる・広がる」など、SDGsの観点から自然や環境問題について考える教材やコラムが掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「SDGsの観点から自然や環境問題について考える」(2年 p.142「せかいの あいことばーモットイナイ」/5年 p.68「海洋プラスチックごみをへらすために」/6年 p.74～79「タマゾン川」、等)</li> </ul> </li> </ul>
40	児童が消費者教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近なものを大切にすることを考える教材や、エシカル消費について扱うコラム「つながる・広がる」など、自立した消費者を育む教材やコラムが掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「自立した消費者を育む」(2年 p.138～141「もったいないの スポン」、p.142「せかいの あいことばーモットイナイ」/5年 p.83「今日からできるエシカル消費」、等)</li> </ul> </li> </ul>

41	児童が主権者教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分たちの学校のためにできることを考える教材や、震災時のボランティアを題材とした教材など、よりよい社会の形成に参画しようとする態度を育む教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「よりよい社会の形成に参画する態度を育む」(3年 p.38～41「みんなの学校なのに」/6年 p.94～97「うちら『ネコの手』ボランティア」、等)</li> </ul> </li> <li>●ICT端末の使い方を例に、自分たちでルールをつくり、問題が起こったらルールを変えることを促す学習活動が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「自分たちでルールをつくる」(1年 p.26～27「つかう ときの ルールをつくろう」)</li> </ul> </li> </ul>
42	児童が法教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自転車置き場のルールなど身近なまわりについて考える教材や、いじめを防止するために法律ができることを考えるコラム「つながる・広がる」など、学年段階に応じて法やまわりの役割や意義を考える教材やコラムが掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「法やまわりの役割や意義を考える」(5年 p.50～53「駅前広場は自転車置き場?」/6年 p.40～41「いじめを法律でどう防ぐ?」、等)</li> </ul> </li> </ul>
43	児童が知的財産に関する教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●著作権に関わるルールについて考える教材や、著作権に関わるクイズを扱うコラム「つながる・広がる」など、知的財産を保護する意義を考える教材やコラムが掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「知的財産を保護する意義を考える」(3年 p.58～61「作ひんのかち」、p.62～63「ちよさくけんクイズ」、等)</li> </ul> </li> </ul>
44	児童が心身の健康の保持増進について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活習慣から自分の健康について考える教材や、健康を守る体の仕組みについて扱う教材など、児童の心と体にわたる健康問題についてさまざまな角度から考える教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「健康問題について考える」(2年 p.52～55「あさも ひるも よるも あそびたい」/4年 p.32～35「がんばれ、ぼくのからだ!」、等)</li> </ul> </li> </ul>
45	児童がキャリア教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際的に活躍した人や著名な人、身近な生活を支える人など、自分らしい生き方をしている人々を扱った教材が豊富に掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「自分らしい生き方をしている人々」(3年 p.163～166「大通りのサクラなみ木」/6年 p.98～101「みんないっしょだよー黒柳徹子」、等)</li> </ul> </li> <li>●6年のコラム「つながる・広がる」では、どんな自分になりたいのか友達と話し合う学習活動が紹介されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「どんな自分になりたいのか話し合う」(6年 p.84～85「しょうらいの夢を語ろう」、等)</li> </ul> </li> </ul>
46	児童が食育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の伝統料理について扱う教材や、食習慣について考える教材など、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけられる教材が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「食に関する正しい知識と望ましい食習慣」(2年 p.84～86「『かむかむメニュー』」/5年 p.134～136「正月料理」、等)</li> </ul> </li> </ul>
47	児童がLGBTなどの性の多様性やダイバーシティ(多様性)など、人権教育について考えることができるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障がい者との関わりや、ダイバーシティのための取り組みなど、あらゆる人が幸福に生きるための人や社会の働きを扱った教材を掲載し、人権や福祉についての考えを深められるように構成されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「あらゆる人が幸福に生きるための人や社会の働き」(4年 p.10～12「なにかお手つだいできることはありますか?」/6年 p.168～171「『あきらめない』を手助けしたいー義肢装具士 白井二美男」、等)</li> </ul> </li> <li>●人が生まれながらに持っている権利について理解できるよう、人権について学ぶ、コラム「つながる・広がる」が掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「人権について学ぶ」(5年 p.42～43「子どもの権利条約」、p.104～105「世界人権宣言」)</li> </ul> </li> <li>●インターネットによる人権侵害やハンセン病患者など、人権課題に関する資料が、コラム「つながる・広がる」に掲載されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「人権課題に関する資料」(6年 p.60～61「さまざまな角度から情報を確認しよう」、p.102～103「病気の人を差別する人たちの問題」、等)</li> </ul> </li> <li>●セクシャルマイノリティの子が登場する絵本を紹介するなど、児童がLGBTなどの性の多様性を受け入れる態度を養えるように配慮されている。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「LGBTなどの性の多様性」(2年 p.46～47「ともだち いろいろ」)</li> </ul> </li> </ul>

## ④ 全ての児童が使いやすい教科書への配慮

### 表記・表現

No.	観点	特色
48	本文の書体や大きさは、児童の発達に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文の書体は、正しい形状を保ちながらも、太さの強弱を抑え、ロービジョン（弱視）、ディスレクシア（読み書き障がい）に配慮されたユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されている。</li> <li>●低学年、中学年、高学年で本文の文字の大きさや行間を変えるなど、児童の発達の段階に配慮されている。</li> </ul>
49	挿絵や図の大きさや配置は、工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が、自己の生き方について意欲的に考えることができるよう、美しい挿絵やダイナミックな写真が随所に掲載されている。</li> <li>▶「美しい挿絵やダイナミックな写真」（4年 p.144～151「花さき山」／5年 p.84～89「一ふみ十年」、等）</li> <li>●文章を読解する力に個人差のある低学年では、教材の理解を助ける挿絵が大きく掲載されている。</li> <li>▶「低学年の大きな挿絵」（1年 p.34～37「はしのうえのおおかみ」／2年 p.22～24「金のおの」、等）</li> </ul>
50	表記・表現は、児童の発達の段階や読み取りやすさに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漢字は、読解に時間をかけずに「考え、議論する道徳」が実現できるよう、未習の可能性のある当該学年の配当漢字は使用せず、原則として当該学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用されている。</li> <li>●固有名詞など配当学年以上の配当漢字は、教材ごとにふりがなが付されており、児童が負担なく教材を読めるように配慮されている。</li> </ul>
51	関連するウェブサイトへ遷移する二次元コードは、適切に配置されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●関連するウェブサイトへ遷移する二次元コードは、教材冒頭の定位置に掲載されており、児童の学びを阻害しないように配慮されている。</li> <li>●各学年に、二次元コードから利用できるQRコンテンツについて解説したページ「コンピュータで学びを広げよう」が設けられている。</li> <li>▶「コンピュータで学びを広げよう」（1年 p.8／2～6年 p.9）</li> </ul>

### 造本・印刷

No.	観点	特色
52	文字、挿絵、図、写真などの印刷は鮮明で見やすいか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印刷は鮮明で見やすく、目に優しい色を基調に構成されている。色校正を重ね、児童の学習意欲を喚起できるように工夫されている。</li> </ul>
53	製本は堅牢で、環境やアレルギーに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●製本は強力な接着剤を採用したあじろ綴じで、教科書を広く開くことができる広開性と、折れややぶれにつながる折り返みがなく、繰り返し開くことができる堅牢性を兼ね備えている。</li> <li>●環境にやさしい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキが使用されているなど、環境やアレルギーに配慮されている。</li> </ul>
54	教科書の重量は、児童の身体的な負担に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●軽量で丈夫な用紙が採用され、ワイドな判型でありながら、重量による身体的な負担を軽減するように配慮されている。</li> </ul>
55	造本は児童の感性に訴えかけるように工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童の心に訴えかけるよう、視覚効果の高いワイドなA B判が採用されている。</li> </ul>

### 人権上の配慮

No.	観点	特色
56	掲載されている挿絵や写真は、ダイバーシティ（多様性）に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教室の場面に障がいのある児童や外国人児童が描かれていたり、日本の民族衣装としてアイヌの人々や琉球・沖縄の人々の衣装が掲載されていたりするなど、挿絵や写真がダイバーシティに配慮されている。</li> <li>▶「ダイバーシティに配慮された挿絵や写真」（1年 p.10～11「わたしのすきなこと」／2年 p.76～79「せかいのくこの人たちと」、等）</li> </ul>
57	掲載されている教材は、多様な家庭環境に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教材や挿絵に登場する家族の性別による偏りを減らし、全ての児童が教材と向き合うことができるように配慮されている。</li> <li>▶「性別による偏りを減らす」（1年 p.96～98「どうぶつのかぞく」、p.116～119「おたんじょうびカード」、等）</li> </ul>

### 特別支援教育・ユニバーサルデザイン

No.	観点	特色
58	誰一人取り残すことのない学びを実現できるよう、特別支援教育に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育の観点からデザインや内容の検討や校閲をしていることが奥付に明記されている。</li> <li>●本文の書体は、正しい形状を保ちながらも、太さの強弱を抑え、ロービジョン（弱視）、ディスレクシア（読み書き障がい）に配慮されたユニバーサルデザインフォントの教科書体が使用されている。</li> <li>●低学年では、教材本文を文節ごとに分かち書きされるとともに、文節で改行され、全ての児童が読みやすくなるように配慮されている。</li> <li>●全学年を通して、教材末の「考えよう」など、児童への問いかけ文に文節改行が採用され、児童の読み取りやすさに配慮されている。</li> </ul>
59	カラーユニバーサルデザインへの配慮から表現が工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色覚問題の専門家の協力を得て全ページの配色や色に関わる表現の点検や校閲をしていることが奥付に明記されている。</li> <li>●色分けによる判別を避け、デザインや文字を使って全ての児童が情報を読み取れるように配慮されている。</li> </ul>
60	外国人児童や、視覚障がいのある児童、読字障がいのある児童など、教材の読字に困難さがある児童に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全教材に付いた二次元コードから、朗読音声やスライドショー（紙芝居）が視聴でき、教材の読字に困難さのある児童の教材理解に配慮されている（1年入門期は除く）。</li> <li>▶「朗読音声」「スライドショー（紙芝居）」（教材冒頭の二次元コード）</li> <li>●人物教材や、現代的な課題が題材の教材で、教材に付いた二次元コードから、教材の理解を支援する動画を視聴することができる。</li> <li>▶「教材の理解を支援する動画」（3年 p.34：リンカーン／5年 p.112：ペーターベン／6年 p.162：中村哲、等）</li> </ul>
61	発行が予定されている学習者用デジタル教科書は、特別な配慮を必要とする児童に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習者用デジタル教科書には、文字の色やフォントの変更、リフロー表示、機械音声による読み上げ、総ルビ分かち書き表示などの機能が搭載されており、多様な児童のニーズに応え、学びを支えることができる。</li> <li>●学習者用デジタル教科書に設置されたリンクをクリックすることで、QRコンテンツとして用意されている、全教材の朗読音声やスライドショー（紙芝居）を簡単に利用することができる（1年入門期は除く）。</li> <li>▶「朗読音声」「スライドショー（紙芝居）」（全教材）</li> </ul>

